

新宿区教育委員会会議録

平成27年第11回定例会

平成27年11月6日

新宿区教育委員会

平成27年第11回新宿区教育委員会定例会

日 時 平成27年11月6日(金)

開会 午後 2時00分

閉会 午後 2時22分

場 所 新宿区役所6階第2委員会室

出席者

新宿区教育委員会

委 員 長	松 尾 厚	委員長職務代理者	今 野 雅 裕
委 員	菊 池 俊 之	委 員	古 笛 恵 子
委 員	羽 原 清 雅	教 育 長	酒 井 敏 男

説明のため出席した者の職氏名

次 長	中 澤 良 行	中央図書館長	藤 牧 功太郎
教育調整課長	木 城 正 雄	教育指導課長	横 溝 宇 人
教育支援課長	遠 山 竜 多	学校運営課長	山 本 誠 一
統括指導主事	小 林 力	統括指導主事	篠 塚 幸 次

書記

教育調整課 管理係主査	高 橋 和 孝	教育調整課 管理係	薬 袋 和 明
----------------	---------	--------------	---------

議事日程

報 告

- 1 中学校学校選択制度の各学校別状況一覧（平成28年度新入学者）及び平成28年度新入学区立中学校の抽選について（学校運営課長）
- 2 新宿区立新宿中学校建設時における旭化成建材（株）による杭工事データの流用について
- 3 その他

◎ 開 会

○松尾委員長 ただいまから、平成27年新宿区教育委員会第11回定例会を開会します。

本日の会議には全員が出席しておりますので、定足数を満たしています。

本日の会議録の署名者は、古笛委員にお願いします。

◆ 報告 1 中学校学校選択制度の各学校別状況一覧（平成28年度新入学者）及び
平成28年度新入学区立中学校の抽選について

○松尾委員長 本日は議案がございませんので、事務局から報告を受けます。事務局から説明をお願いします。

○学校運営課長 それでは、「報告 1 中学校学校選択制度の各学校別状況一覧（平成28年度新入学者）及び平成28年度新入学区立中学校の抽選について」、御報告いたします。

お手元の資料につきましては、平成28年度新入学に当たっての中学校の選択状況をお示したものでございます。

平成27年10月30日現在、新宿区内の新入学生は、1,528名、そして選択希望者が、284名でございます。選択希望者の割合につきましては18.6%でございます。過去最も低い割合となっております。ちなみに、平成27年度入学に際しましての選択率は21.5%、平成26年度は23.9%、平成25年度は22.9%といった状況でございます。

続きまして、裏面の平成28年度新入学区立中学校の抽選について御説明させていただきます。

抽選基準につきましては、表のEの欄にございます。これは過去3年間の学区内の転入者数や外国籍生徒の増減の様子を、それから、国私立への入学者数等の状況を過去のデータから出しまして、今後、通学区域内に転入生が入学してきても受入可能数を上回らないと考えられる生徒数を学校ごとに割り出したものでございます。

そういった結果、抽選対象校は、ここにございますように1番、5番、10番の牛込第一中学校、西早稲田中学校、新宿西戸山中学校の3校でございます。この3校は、昨年も抽選でございました。抽選対象校は平成28年度は3校でございますけれども、昨年度は落合中も抽選対象校でございました。ということで、昨年に比べて抽選対象校は1校の減でございます。

それから、この表の見方でございますけれども、選択結果（D）、これは表のD欄と一致

しておりますけれども、Dが選択結果で、抽選基準が先ほど申しあげましたように各学校ごとに過去のデータで算出したものでございます。

なお、抽選選択対象者のうち、新宿西戸山中につきましては、1組双子の世帯がございます。そういうこともございまして、抽選対象者の当選枠、補欠の数字につきましては、基本は人数でございますけれども、これは「組」と読みかえさせていただきます。人数的には、Gの欄の新宿西戸山中が34人になっておりますけれども、双子がございますので33組ということで抽選。抽選ですが、補欠の順位を決めるということでございます。

なお、先ほど申しあげましたように、落合中学校が抽選対象校から今回外れた理由といたしましては、私どもが今のところ把握している中では、昨年と比べて学区域内の生徒数が若干減少しているということと、選択希望者につきましても、他の学区域からの選択希望者も少し減少している、そういったところで今回抽選対象から外れているものでございます。

なお、今回の抽選につきましては、来週11月12日に行う予定でございます。

以上で、選択結果の状況並びに抽選についての御説明を終わらせていただきます。

○松尾委員長 説明が終わりました。ただいまの報告について、御意見、御質問のある方はどうぞ。いかがでしょうか。

[発言する者なし]

○松尾委員長 それでは、私から1つ御質問させていただきたいのですが、この受入可能数のところが120人の学校と160人の学校とございます。120人は3クラス、160人は4クラス分だと思っておりますけれども、これはその学校の規模で毎年変動しないものなのでしょうか、それとも年によって変動するものなのでしょうか。

○学校運営課長 ここ数年は、小学校に比べて生徒の増減数がそれほど大きくはございませんので、受入可能数については昨年、また、一昨年も同様の数で推移しております。

○松尾委員長 わかりました。

ほかに御質問ございますでしょうか。

○菊池委員 これを見て気になったのは、9番の新宿中学校では他校への選択希望者が多いということです。88名が他校を選択しているようですけれども、どの学校を選択しているか、把握されていれば教えてください。

○学校運営課長 新宿中学校から他校への希望者ということのお尋ねでございます。

私どもで統計をとっている中では、西早稲田中学校の27名、その次が牛込第一中学校の25名、3番目に牛込第二中学校の12名といったところが主なところでございます。

○松尾委員長 よろしいでしょうか。

○菊池委員 距離的には、新宿中の学区域から西早稲田中は近かったように思いますが。

○教育長 隣の学区域になります。

それと、補欠になった人がいつまで補欠でいて、どのような形で補欠の順番で志望校に上がっていくのか。いつの時点で志望校に上がれなくて、本来の自分の学区域の学校に行くことになるのか、その時間的な流れを少し説明してください。

○学校運営課長 スケジュールを申し上げますと、抽選につきましては来週12日でございますけれども、その後、まず抽選対象校以外の方に対しては12月に入学通知書を送付いたします。ただ、今回のように他校を希望して抽選対象者となった場合、当選された方はその希望される学校の入学通知書が送付されますけれども、補欠の方は本来の学区域の入学通知書が12月に送付されます。ですから、牛込第一中学校の場合は、補欠の16名、西早稲田中の18名、西戸山中の34名の方は、本来の学区域の入学通知書が出ます。補欠の繰り上がりについては、これは来年の2月17日の時点で、国私立に行かれる方など、入学されない方がいますので、そこで補欠から繰り上がる者は繰り上げます。最後まで繰り上げが行えない場合は、2月17日をもって解除となります。その後は本来の学区域から他校へ希望される場合は、指定校変更の申請をできると、そういったところでございます。

○松尾委員長 よろしいでしょうか。ほかに御意見、御質問ございますでしょうか。

[発言する者なし]

○松尾委員長 なければ、報告1の質疑を終了いたします。

◆ 報告2 新宿区立新宿中学校建設時における旭化成建材(株)による杭工事データ
の流用について

○松尾委員長 次に、「報告2 その他」ですが、事務局から報告事項はございますか。

○教育調整課長 1件、追加がございます。

新宿区立新宿中学校建設時における旭化成建材株式会社による杭工事データの流用について、学校運営課長より御報告をいたします。

なお、今資料をお手元に配付していますので、よろしくお願ひいたします。

○学校運営課長 新宿区立新宿中学校建設時における旭化成建材株式会社による杭工事データの流用について、御報告申し上げます。

去る10月27日に、新宿中学校の建設工事に際し、杭工事を旭化成建材が施工していること、

それから区の緊急調査により、当該新宿中学校にひび割れや傾きの不具合がないことを確認した旨を、10月27日に新宿中学校の保護者にお知らせしたところでございます。

その後、さらに区のほうで調査を進めたところ、新宿中学校の杭の111本のうち1本について根固め液、括弧書きにございますように杭の先端部を固定するために使用するセメントと水を混ぜ合わせたものでございますが、その注入量について、データの流用があることが判明いたしました。

資料の最後のページをごらんください。この南棟のところに丸印がございますけれども、緑色のNo.27、流用元になった杭の位置です。12番の杭が27番と同じデータを用いたといったところでございます。

そのことについて、総務部施設課の職員、それから元請会社の鴻池・長田・野澤建設共同企業体により、工事写真、施工報告書などの施工記録を詳細に調査したところ、新宿中学校の全ての杭が支持層まで到達し、計画されていた数量どおりに根固め液が、流用データがあった部分の杭についても注入されていることを確認いたしました。その旨、新宿中学校の保護者の方には、去る11月4日に学校を通じてお知らせしたところです。

それと同時に昨年、11月5日の午後7時から新宿中学校の体育館におきまして、保護者説明を行わせていただきました。出席者については、記載のとおり11名でございました。

当日の説明会資料につきましては、ごらんいただいている資料のとおりでございます。

今後の対応につきましては、引き続き総務部施設課のほうで元請建設会社とともに、安全性の確認を行っていくということでございます。

以上でございます。

○松尾委員長 説明が終わりました。ただいまの報告につきまして、御意見、御質問があればどうぞ。

○羽原委員 新宿中の保護者説明会、どのくらいおいでになるんですか。

○学校運営課長 昨夜の保護者説明会に11名の保護者の方がいらっしゃいました。

○羽原委員 少ないですね。

○学校運営課長 少し補足させていただきます。確かに私どもが想像していたより少なかったのですが、11月4日にプレス発表、それから保護者へのお手紙を配る前に、私と施設課長が学校へ参りまして、この辺の経緯、それから状況を詳しく説明させていただきました。その内容を昨日、朝の臨時朝会ということで、校長先生から全校生徒に対して、旭化成建材が杭工事に当たっているけれども、支持層まで杭がしっかりと届いていて、安全だということ

とを生徒に伝えたということです。私どもと校長の推測ですが、生徒も一定程度の理解を示していたということで、それを御家庭に伝えたことの結果として、保護者の方の参加が少なくなったのかなと考えております。

○松尾委員長 ほかに御意見、御質問ございますでしょうか。

[発言する者なし]

○松尾委員長 それでは、私から1つお伺いします。このデータ、根固め液の注入量の記録ですが、これは施工業者が提出する書類の中にあつたデータが流用されていたことが判明したということだと思います。施工業者が報告する部分のほかに、元請会社あるいは区が工事の過程で確認する場面等があると思います。今回、安全性を確認するに当たって、施工業者が提出するデータ以外の部分で区が確認できる部分というのはどういったものでしょうか。

○学校運営課長 私が施設課長から聞いている中では、まずボーリング箇所が10カ所、試験杭箇所が4カ所ございます。このデータは旭化成建材と別個にやっておりますので、ボーリングの調査表が別個に元請会社が持っていますので、そこで深度とといいますか、長さが確認されています。

それから、もう一点聞いておりますのは、根固め液は、注入量が杭の直径と深さの関係で注入すべき量が1本1本決まっていますのですが、その全体量が、設計の中では16万8,000キログラムを注入すべきところを、それをはるかに超えて17万1,000キログラム程度注入しているということです。この根固め液をほかに流用するためにデータを隠したのかという質問をしたところ、根固め液は主にセメント60%、水、その他ありますけれども、これはほかに流用できるような代物ではないというもので、そこで全部埋めてしまわない限りはほかに流用できるようなものではないということでした。計画量を上回る量をしっかり地中まで埋めているということをもって、施設課では、データの流用はあつたにせよ、支持層、固い地盤まで届いていると判断したと聞いております。

○今野委員 今のお話にもありましたけれども、全体で111本のうち1本だけ流用ということですから実際には強度では安全だということでしたので、何か殊さらの悪意をもって流用したとも考えられないのですが、なぜ流用するようなことになったのでしょうか。

○学校運営課長 まさにきのう11名の保護者の方が出席されて、1人だけ御質問されましたが、今野委員と同じ内容の御質問でした。しっかり支持層まで届いているのに、なぜわざわざ流用してしまったのか。これは施設課のほうから元請会社ないし旭化成建材に聞いたところ、旭化成建材もわからないということでした。ただ、施設課長が取材のインタビュー等で答え

ている中では、データをなくしたのか、スイッチを押し忘れたか等、単純ミスでデータがとれなかったところを糊塗するためにやったのではないかと。これは臆測ですから、正式に旭化成建材から報告されたものではないですけれども、そういったところではないかという話は聞いております。

○松尾委員長 ほかに御意見、御質問ございますでしょうか。

[発言する者なし]

◎ 閉 会

○松尾委員長 特に御意見、御質問がないようでしたら、以上で報告事項を終了し、本日の教育委員会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

午後 2時22分閉会